

夏まるかじりツアー

8月2日(金) ~ 8月4日(日)

IN 兵庫県立南但馬自然学校



	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発	レクリエーション大会	野外炊飯
2日目	棒焼きパン・登山	グループタイム	キャンプファイア
3日目	清掃・工作	施設を出発・解散	

一日目： 快晴のもと約60名の参加者が尼崎に集合しました。そこからバスに乗り込み2泊3日過ごす施設に向かいました。道中は本当に賑やかで、楽しく過ごしました。施設に着くとお弁当を食べ、広い芝生でレクリエーション大会を行いました。動いて走って体を動かし、時には頭も使いながらグループ丸となってレクリエーションを楽しみました。そして、1日目の晩御飯は野外炊飯です。メニューはカレー！初めての野外炊飯で汗を流しながら頑張っている姿、経験があり、その経験を生かしてグループをひっぱっている姿、カレーを自分達の手で作っている姿は逞しくカッコよく見えました。どのグループも美味しいカレーを作り上げペロっと食べていました。中には「お家のカレーより美味しい」という声も…使った器材の片づけをし終わった頃はもう日も暮れ、夜となっていました。お風呂に入り、就寝しました。今日一日疲れたのか、ぐっすりと眠っていました。



二日目： 眠たい目をこすりながら朝の集いをしました。昨日から歌っている「虹」をみんなでお歌いしました。そして朝ごはんは棒焼きパンをしました。パン生地を棒に巻きつけ焼き上げました。思っている以上に焼く作業に苦戦し、やっとの思いで出来上がったふわふわモチモチのパンは「甘くておいしい！ジャムいらない！」と満足のいく出来栄でした。朝ごはんを食べ終わると、準備をし、登山です。目指すはアジアのマチュピチュ竹田城です。最初は長い下り坂。だんだん竹田城が近くに見えてくるものの歩いても、歩いても着かない…。そして登山道に入り今度は急な上り坂！天気も快晴で「暑い！」「遠い…」と弱音がちらほら。それに負けず「頑張ろう！」「あと少し！」などグループ内で励ましの言葉も！そして全員登頂することができました。頂上からの景色は絶景でした「やっほー！！」と叫んでいました。午後からは体力回復のためグループタイムでゆっくり…ののんびり、みんなの元気はおやつのおアイスですぐに100パーセントに！広い芝生で各グループのびのびと過ごしていました。そして夜はおまちかねのキャンプファイア！ダンスをしたり、ゲームをしたり楽しい時間を過ごしました。最後は全員で肩を組み「虹」を歌いました。歌声も心もひとつになっていました。



三日目： 楽しかったキャンプも最終日。朝から掃除で大忙し！シーツを片付け、荷物を整理し、使った部屋そして館の掃除。みんなで協力し、テキパキとこなしていました。掃除の後は思い出焼き板をしました。焼き板を作りその焼き板にボスカでこの2泊3日の思い出を絵にして描きました。出来上がった作品はどれも素敵なものに仕上がっていました。キャンプファイアや登山、みんなで遊んだ思い出が描いていました。そしてバスに乗り込み施設にさようならをし、尼崎へと向かいました。バスの中は楽しかった思い出話に花が咲き、最後の最後までお友達と楽しむという姿が見えました。



<キャンプ総括>

今年も夏をまるかじりました。去年と大きく違うプログラムは、施設が和田山の南但馬ということで、竹田城登山がありました。施設から山のふもとに行くまで、そして竹田城への登山、そして下山と約5時間の登山でした。この2泊3日で意識してもらいたかった“グループ意識”がこの登山で現れたのかな、と感じました。自分がしんどい時には周りのみんなから声をかけて力をわけてくれる、だったら友達がしんどい時には助けなければ！そんな思いが生まれたと思います。どのグループからも「頑張ろう！」「あと少し！」など様々な声かけが聞こえてきました。仲間と一緒に頑張る、そして仲間がいるからこそ頑張れる、それを自然と肌で感じたのではないのでしょうか。1日目の野外炊飯よりも2日目の登山よりも3日目の思い出焼き板、とプログラムと一緒に過ごす時間が増えていくにつれ子ども達のグループ意識が高まっていく姿は逞しく、自分達の力でキャンプを楽しもうという意識が見られました。子ども達が主体となり楽しさを見出していけるように今後もしていきたいと思いました。(濱野 かおる)